

# 2009 年度夏の三者総会 議案書

2009 年度三者事務局校・大阪大学

2009 年 8 月 27 日 (木) 13:30 ~

於: パノラマランド木島平

## 目次

1	2009 年度三者事務局校 (大阪大学)	[ '09/09/21 現在]	2
1.1	活動報告		2
1.2	三者役職校選定 (承認)		2
2	2009 年度三者センター校 (金沢大学)	[ '09/08/16 現在]	3
2.1	活動報告 ; 援助と協賛について		3
2.2	2007 年度夏の学校決算報告 (暫定版)		3
2.3	支出予定: 各役職校からの予算申請を元に作成		4
2.4	繰越金問題		6
2.5	各役職校の決算提出について		7

# 1 2009 年度三者事務局校（大阪大学） [’09/09/21 現在]

文責：西中崇博（大阪大学）

## 1.1 活動報告

本年度の三者事務局の活動を以下に報告する。ほぼ例年通りである。

- 2008 年 8 月 2008 年度事務局校（総研大）の方から引き継ぎ
- 2008 年 9 月 YONUPA-HP の更新、YONUPA-ML の管理引き継ぎ
- 2008 年 9 月 秋の三者総会の運営（YONUPA-ML 上）
- 2008 年 11 月 春の三者総会のためのインフォーマルミーティングを申し込む
- 2009 年 3 月 春の三者総会（@立教大）の運営
- 2009 年 4 月 YONUPA-ML 一斉更新
- 2009 年 7・8 月 将来の役職校の選定
- 2009 年 8 月 夏の三者総会の運営

## 1.2 三者役職校選定（承認）

三者役職校は 20 のローテーション校が持ち回りで担当しています。2009 年度三者事務局は 2011 年度の事務局校と名簿校、及び 2012 年度センター校と準備校を選定することになっています。我々は過去の担当履歴や学生の人数を考慮した結果、以下の大学の皆様に役職の担当をお願いし、引き受けていただけることとなりました。

そこでこれらの選定について、三者若手の皆様の承認をお願いします。

2012 年度三者センター校	総合研究大学院大学
2012 年度三者準備校	名古屋大学
2011 年度三者事務局校	神戸大学
2011 年度三者名簿校	広島大学

## 2 2009 年度三者センター校 (金沢大学)

[ '09/08/16 現在 ]

文責：川島健治 (金沢大学)

### 2.1 活動報告；援助と協賛について

2007 年度三者センター校は以下の団体に対して経済的援助あるいは協賛を依頼し、承認を得た。

- 援助：基礎物理学研究所: 50 万円\*, 素粒子論グループ: 45 万円
- 協賛\*: 日本物理学会, RCNP(核物理研究センター), 原子核談話会, 高エネルギー研究者会議

\* 基研からの予算は講師及び学生トーカー旅費補助とポスター印刷費を合わせて 50 万円。

また、ポスター印刷費 (上限 10 万円) は実際にかかった費用のみが支払われる。(今年度は¥22,700)

\* 『協賛』とは、三者の配布する夏の学校の宣伝ポスターに『協賛』の文字列を入れることの許可に加えて、機関紙等において夏の学校の宣伝をさせて頂く、会員に対して夏の学校の講師になった場合に、自費で夏の学校に来て頂くよう呼びかけてもらうなどの意味である。

### 2.2 2007 年度夏の学校決算報告 (暫定版)

#### 2.2.1 収入予定

- (1) 前年度繰越金: ¥1,653,948 (確定)
- (2) 参加費 (参加者が 248 名の場合 †): ¥4,000 × 248 = ¥992,000
- (3) 外部団体からの援助金: ¥950,000 (確定)

収入合計: (1) + (2) + (3) = <b>3,595,948 円</b>
--

† 夏の学校開始前の見通しにより、参加者数を予算案における 300 名から 248 名に変更して計算した。

## 2.3 支出予定: 各役職校からの予算申請を元に作成

役職校	担当大学	今年度予算案(申請額)	決算予定額*	前年度決算額
三者センター校	金沢大学	3,000	3,000	12,220
三者事務局	大阪大学	0	0	0
三者準備校	筑波大学、東京工業大学	320,000	185,184	217,823
三者名簿校	大阪市立大学	0	0	-33,881
素粒子論パート事務局	新潟大学	0	0	0
素粒子論パート準備校	北海道大学	23,000	15,220	22,734
原子核パートセンター校	新潟大学	0	0	0
原子核パート準備校	九州大学	15,000	15,000	7,128
高エネルギーパート準備校	東北大学	0	0	0
セクハラ対策 WG	-	0	0	0
役職校経費小計		361,000	218,404	226,288
講師旅費		400,000	477,300	477,030
ポスター印刷費		100,000	22,700	22,970
学生旅費補助		1,400,000 <sup>†</sup>	1,577,544	1,086,640
次年度繰越金		1,542,948	1,300,000	1,653,948
総計		3,803,948	3,595,948	3,466,612

\* 夏の学校前における見通し。各役職校からの報告をもとに作成。

† 学生旅費補助は暫定的に 140 万円として計算した。実際の補助額とは異なる可能性がある。

### 2.3.1 各三者役職校の支出予定項目

- 三者センター校 (金沢大学)

申請項目	申請額	決算予定額
振込手数料	3,000	3,000
申請額合計	3,000	3,000

- 三者事務局 (大阪大学)

申請項目	申請額	決算予定額
コピー代	0*	0
申請額合計	0	0

\* 研究室のコピー機を使えるため。

- 三者準備校 (筑波大学、東京工業大学)

申請項目	申請額	決算予定額
下見・交通費	30,000	12,453
施設使用料金	150,000	136,665
コピー代*	50,000	10,000
文具代	20,000	3,366
郵送費	40,000	8,140
払出し手数料	30,000	14,560
申請額合計	350,000	185,184

\* コピー代にはポスターデザイン料を含む。

- 三者名簿校 (大阪市立大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

### 2.3.2 各パート役職校の支出予定項目

- 素粒子論パート

- － 素粒子論パート事務局 (新潟大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

- － 素粒子論パート準備校 (北海道大学)

申請項目	申請額	決算予定額
録音・録画関係費	13,000	6,320
機材送料	6,000	8,900
消耗品代	2,000	0
研究会費	2,000	0
申請額合計	23,000	15,220

- 原子核パート

- － 原子核パートセンター校 (新潟大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

- － 原子核パート準備校 (九州大学)

申請項目	申請額	決算予定額
郵送代	10,000	10,000
文具代	3,000	3,000
コピー代	2,000	2,000
申請額合計	15,000	15,000

- 高エネルギーパート

－ 高エネルギーパート準備校 (筑波大学)

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

● セクハラ ワーキンググループ

申請項目	申請額	決算予定額
なし	0	0
申請額合計	0	0

## 2.4 繰越金問題

### 繰越金の適正額

現在くりこし金が累積し、160万円程度に達しています。この点について基礎研への補助申請時に多すぎると指摘を受け、くりこし金の適正額について議論するよう求められました。

同様の議論は2001年度にも持ち上がっています。この時のくりこし金は270万円で、議論の結果、ホテルの前金(数10万)が必要、また2団体からの寄付(計100万円)がもらえない場合を想定し、適正額は100～150万円ということで落ち着いたようです。

今年は、150万でも多いとの意見がでました。

### ● 繰越金に関わる情報

- － 夏の学校一回分の全予算は約200万円。
- － 参加費合計4000円×250名=100万円。
- － 外部団体からの補助額は100万円。
- － 夏の学校準備にかかる費用(役職校申請額合計)は過去7年で、最高54万(04年)～最低36万(09年)であるので、50万程度必要!
- － 参加者は過去11年で、平均人数309人です。参加人数の最高379人(98年)～最低248人(07年)なので、人数の揺らぎ60人だということがわかります。その参加費の揺らぎ60人×4000円=24万円を吸収するために24万必要!

以上を考慮して、繰越金は80万～100万円が適切と考えます。

### 減額の方法

減額の方法として、以下が考えられます。

- 参加費を下げる。
- 旅費補助を多く出す。
- 各種機関への補助申請を辞退する。

もともと旅費補助は申請に対しすべて認められているわけではなく、予算に応じて金額を決定しています。そのため今回は、旅費補助を多めにすることで対処したいと考えています。

具体的には、旅費補助を従来より多く認めることで、2年程度で目標額に達したいと考えています。

## 2.5 各役職校の決算提出について

決算時には、以下の手続きをして頂きますので各役職校の方はご承知下さい。

### 領収書の郵送

領収書は決算時に下記 三者センター校（金沢大学）まで、まとめて郵送して下さい。

決算報告（メール）と見比べやすくするため、領収書の上下隅もしくは裏面に番号を振って下さい。

### 決算報告の提出（メール）

決算報告をメールでお願い致します。このとき、各項目にどの領収書が対応しているかが分かるようにして下さい。詳細については後日連絡します。

### 残高の振込み

三者センター校から各役職校に入金した予算が余った場合は  
残高を三者センター校の口座に振り込んでください。

### 期日 及び 郵送・連絡先

秋の三者総会で決算報告を行います。

各役職校のセンター校宛の決算報告、領収書提出の締め切りは、『9月9日（水）』とします。期日までに提出できない場合には下記連絡先に必ずご連絡下さい。連絡も領収書の提出もない場合には、三者からの支払いができない場合がありますのでご注意下さい。

#### 連絡先

〒 920-1192

金沢市角間町

金沢大学 自然科学研究棟 5号館 5階

理論物理学 研究室

2009年度 三者若手夏の学校 三者センター校 宛

E-mail : yonupa-hoi@hep.a.kanazawa-u.ac.jp

phone & fax : 076-264-5741